

2015 紀の国 わかやま 国体

第70回国民体育大会

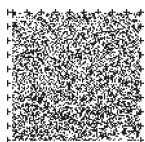
躍動と歓喜、そして絆

vol.10

和歌山ビッグウエーブが 完成しました!!



音声コード



音声コードは読み上げ装置にて、
情報を音声で聞くことができます。

和歌山ビッグホール隣に完成した武道・体育センター和歌山ビッグウエーブ(右)



2015 紀の国 わかやま 国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

(施設概要)

地上3階建て、延べ面積8,129.11㎡
観客席2,000席(立ち見含む)
1F:メインアリーナ.....2,350㎡
武道場.....950㎡
2F:サブアリーナ.....1,060㎡
3F:機械室

和歌山ビッグウェーブの機能

- ①国体競技会場として活用(紀の国わかやま国体で柔道・フェンシング競技の実施)
- ②ビッグホールで国際競技大会等を開催する際のサブアリーナとして活用
- ③県内トップアスリートや県民の体力向上のためのトレーニングスペース等として活用



1F:メインアリーナ
【可能競技】バレーボール3面、テニス3面など



1F:武道場
【可能競技】柔道4面、剣道4面、なぎなた3面など



2F:サブアリーナ
【可能競技】フェンシング8面、レスリング4面など

2015年の紀の国わかやま国体に向け、和歌山市手平の和歌山ビッグホール北隣に建設が進められていた新たな県立体育館(武道・体育センター和歌山ビッグウェーブ)が完成しました。建物の外観は、「黒潮を泳ぐクジラ(ビッグホール)」があげたウェーブをイメージしており、紀の国わかやま国体では、柔道及びフェンシング競技が行われる予定となっています。

和歌山ビッグウェーブが完成しました!!

会場地市町村

- 正式競技・特別競技
- 公開競技・デモンストレーションスポーツ

【和歌山市】

- 総合開・閉会式
●陸上競技
●水泳(競泳・水球)
●テニス
●体操(競技・新体操)
●バスケットボール
●セーリング
●ウエイトリフティング
●ハンドボール
●自転車(トラック)
●相撲
●フェンシング
●柔道
●ライフル射撃(CP)
●高等学校野球(硬式)(特別競技)
■サーフィン

【由良町】

- ウォークラリー

【日高町】

- ホッケー

【美浜町】

- ビーチボールバレー

【御坊市】

- バレーボール ●軟式野球

【すさみ町】

- グラウンド・ゴルフ(公開競技)

【岩出市】

- ハンドボール ●バドミントン ●ボウリング

【海南市】

- バスケットボール ●銃剣道
■カローリング ■日本拳法
■武術太極拳 ■バウンドテニス

【湯浅町】

- 軟式野球
■スポーツ吹矢

【広川町】

- パワーリフティング(公開競技)

【紀の川市】

- サッカー ●ハンドボール
●ソフトボール
■綱引(公開競技) ■ベタUNK
■パラグライダー・ハングライダー
■ビリヤード

【有田市】

- 軟式野球
■近代3種

【印南町】

- ゴルフ ●自転車(ロード)

【みなべ町】

- 軟式野球 ●山岳

【上富田町】

- サッカー ●軟式野球
●ラグビーフットボール

【白浜町】

- ソフトテニス ●卓球 ●空手道
■ビーチフットボール

【かつらぎ町】

- ゴルフ
■オリエンテーリング

【橋本市】

- サッカー ●バレーボール
●ソフトボール
■ソフトバレーボール
■庭球野球 TE-YA

【九度山町】

- なぎなた

【日高川町】

- カヌー(スプリント)
●アーチェリー

【古座川町】

- ウォーキング

【県外開催の競技】

- 門真市(大阪府) ●水泳(飛込・シンクロ)
大津市(滋賀県) ●ボート

※馬術、ライフル射撃(CP除く)、クレー射撃については検討中

【高野町】

- ゲートボール(公開競技)
■3B 体操

【紀美野町】

- ホッケー
■ゲートゴルフ
■パークゴルフ

【有田川町】

- リレーション3(3人制ゲートボール) ■スポーツチャンバラ

【北山村】

- カヌー(スラローム・ワイルド)

【田辺市】

- サッカー
●ボクシング
●軟式野球
●弓道
■合気道
■インディアカ
■キンボール

【新宮市】

- サッカー
●高等学校野球(軟式)(特別競技)

【那智勝浦町】

- レスリング ●剣道

【太地町】

- ウォークラリー

【串本町】

- サッカー ●ラグビーフットボール
●高等学校野球(軟式)(特別競技)



PLAYER'S VOICE

ながお かつき
上武大学4年生 長尾 克己 選手

1989年4月14日、和歌山市生まれ、22歳。高橋中学2年生の時に全国中学生選手権で単16強入り。長尾谷高に進学した翌年、全国選抜初出場で団体戦初優勝を遂げたメンバーの一人。翌年は団体4強、個人単ベスト4。2、3年生のインターハイで2年連続団体準優勝。個人では2年生の時の複2位、単ベスト8が最高。全日本ジュニア選手権では05年（16歳以下）、07年（18歳以下）に複優勝を果たした。昨年9月の全日本学生選手権（インカレ）で複2位、室内インカレで単8強、複ベスト4。今春からJTB北海道入りが決まっている。



テニス一家で育ち、3歳上の姉とともに地元のテニスクールに通い出したのが小学1年生。努力と持ち前の負けん気でメキメキ上達していった。中学2年生で出場した全日本ジュニア選手権では初戦敗退を喫したが、その2週間後の全国中学生選手権でベスト16入り。「全日本ジュニアでは緊張して何もできなかった。全中では思い切つてやろう」と聞き直つたことで意外といけた」と笑いながら振り返る。

翌年も期待されたがケガでシーズンを棒に振つた悔しさに加え、それまでの経験から「県内では強くなれない。強い中でもまれたい」と、テニス部の強化を図つていた長尾谷高校（大阪）へ進学。同期には全国中学1、2位コンビもいて、切磋琢磨しながら成長。第28回全国選抜大会（平成18年）の団体戦初出場初優勝の偉業を成し遂げたメンバーの一人となった。インターハイではその年から2年連続で団体準優勝。個人戦でも奥大賢選手（現・日大）と組んだダブルスで2位、ベスト4と2年連続で上位に顔を並べた。持ち味のサーブのスピードとフォアの

パワーを活かした積極果敢な攻撃的テニスは上武大進学後も健在。タイトルこそ獲得できなかったが、昨年9月の全日本学生テニス選手権大会では奥選手とのペアでダブルス準優勝の好成績を残したほか、同12月の全

日本学生室内テニス選手権大会でもシングルス8強、ダブルス4強の成績を残した。団体へは和歌山県代表選手として大学1年生から昨年の山口国体まで4年連続出場。猿渡拓麻選手と組んで出場した新潟、千葉国体で2年連続4強入りで貢献した。



「やっぱり地元和歌山が好き。国体で地元にご貢献したいと思つていた」と話し、紀の国わかやま国体でも代表入りを果たして「良い成績を残したい。ベスト4以上は絶対で、優勝を狙う」と意気込む。

今春からは実業団のJTB北海道入りが決定。「プロになりたいなあという思いもあるが、まず実業団で1位になろうと思つている」と決意を口にし「もつとかけひきを巧く、広い視野で戦える選手になりたい」とさらなる成長を誓う。

競技・選手を支える人

88年ソウル五輪のライフル射撃・スポーツピストル競技で日本女子代表の長谷川智子選手が銀メダルを獲得。その影響を受けてライフル射撃教室に通い出した妹に付き添っているうち「他のスポーツにない楽しさ」に自分自身がはまってしまった。

「射撃は、相手のミスでは勝てない。だから集中力と精神力、自分に勝つことが大事」と精神論を説く。若くして現役を退いたのも「ちょうど仕事が忙しくなったことや、下に良い選手が出てきていたこともあるけど、一番は試合で緊張感なく漫然と撃っていると感じたから」と話す。

以来、ライフル射撃競技の普及・振興と、後進の育成に力を注いできた。「高校生の私を指導してくれていた人は、仕事帰りに射撃場に来て何時間もみてくれた。自分が働くようになってその大変さに気づいた。何とか恩返ししたかった」との思いから小学生から高校生までの選手と向き合う。「子どもたちの頑張っている姿をみると応援したくなるんです」と目を細める。

ただ、課題も少なくない。「ライフル射撃は、危ない、怖い、というイメージがあつて子どもが興味をもつてくれても親の理解が得にくい」と敬遠されがち。「本当はこれほど安全なスポーツはない」ということを知ってもらうために射撃教室を開催するなど、普及啓発に精力的に取り組む。その意味では、紀の国わかやま国体の開催を絶好の機会と捉えており、より多くの人にライフル射撃の素晴らしさを知ってほしいと願っている。



きくみ 恵氏

和歌山県ライフル射撃協会常任理事

1972年3月、和歌山市生まれの40歳。高校2年生からエアライフル射撃を始め、3年生の時にインターハイ、国体にそれぞれ初出場。高校卒業後にビームライフル射撃も始め、県成年女子代表として国体に6年連続出場。92年、ベにはな国体（山形県）の2位を最高位に5大会連続入賞を果たした。ビームライフル射撃のテニール競技（現在は廃止）では40発400満点の日本タイ記録も持つ。県ライフル射撃協会常任理事、少年男女コーチ。



ジュニア選手を熱心に指導する久喜さん（左）

シリーズ

競技紹介



シャトルスピードは初速300km/h超 地元国体に向けジュニア選手を強化

子どもからお年寄りまで手軽に楽しめるバドミントンはレクリエーションスポーツの筆頭。しかし、競技になると、そのスピード感と迫力に圧倒される。

スマッシュを放った直後のシャトルは男子で時速300kmを超え、女子でも250kmに迫るといふ。那賀高バドミントン部顧問で、県バドミントン協会副理事長の武藤隆志さん(60)は「シャトルスピードは緩急の差が激しい。打った直後は速くて厳しいと思うが諦めずに追えば返すことが出来る。色んなショットがあつて迫力もあり、レシーブは綺麗。見ていて飽きないですね」とその魅力を話す。



ペアのコンビネーションのデキが勝敗を左右する

ラケットは重さ約90g、全長68cm以内。ガチヨウの羽根16枚を使用したシャトルは重さ約5g。これを高さ約1.5mのネット



スピード感あるゲームは観客をも魅了する

トを挟んだ長辺13・4m、短辺はシングルスで5・18m、ダブルスで6・10mのコートで打ち合う。1ゲーム21点先取の3ゲームマッチで勝敗を競う。

和歌山県の競技レベルは「下から数えた方が早い」と県協会理事長の岩西壮行さん(67)は苦笑いを浮かべる。かつては住金、花王、丸善、東燃など県内の実業団チームが活躍。国体でも黒潮国体を契機に教員の部(現在は廃止)を強化して優勝経験もあるなど近畿、全国大会で好成績を収めていた時代もあったが、平成の初め頃までに実業団チームは全て廃部となり、競技人口も減っていった。

そんな低迷ぶりに歯止めをかけた県ジュニア連盟の発足(昭和62年)。「オグシオ効果でバドミントン熱は上がっている」と岩西さんが話すよう、小椋久美子・

潮田玲子選手の元日本代表女子ダブルスペアの影響を受けてバドミントンに興味をもったジュニア層の受け皿になった。「近畿で常に最下位だった高校生もちよつと試合になつてきている。ジュニアができて底上げができてきている証し」と武藤さんもその効果を実感している。

それでも「悩みを言えればいっぱいある」と岩西さん。「ジュニアでやっていても中学校に部活動がなく、指導者もないために途切れてしまう。素質のある子は県外の私学へ行ってしまう」と素質あるジュニア選手の県外流出に頭を悩ます。

課題の多い県バドミントン界にとって地元国体はアピールの絶好の場。平成20年度からは小中高校生のそれぞれ男女各6人を強化選手に指定し育成。紀の国わかやま国体時に少年選手(高校生)として活躍が期待される現在小学6年生から中学2年生の選手を対象にした合同練習も週1回開く。シャトルと一緒、厳しくても諦めずに追えば結果はついてくると信じて。



那賀高校バドミントン部のみなさん

2015 紀の国わかやま国体

vol.10 2012年3月発行

第70回国民体育大会和歌山県準備委員会事務局
(和歌山県国体準備課内)

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1

TEL.073-441-2015 FAX.073-427-5377

URL <http://www.wakayama2015.jp/>

E-mail wakayama2015@onyx.ocn.ne.jp

ホームページは、[紀の国わかやま国体](http://www.wakayama2015.jp/)

検索

みなさまのご意見・ご要望をお待ちしております。



この印刷物は環境に配慮して大豆油インキを使用し、ユニバーサルデザインの考え方で作られています。

おしらせ情報

イメージ ソング募集!!

紀の国わかやま国体の開催気運を盛り上げるイメージソングを4月20日(金)まで募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

